

令和 8 年度家畜ふん尿処理利用研究会開催要領
「酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発、および悪臭問題」

畜産施設管理研究領域長 福本 泰之

1. 開催趣旨

新たな食料・農業・農村基本法において、環境と調和のとれた食料システムの確立と、国民一人一人の「食料安全保障」が重要な柱として位置づけられている。これを受け、みどりの食料システム戦略では、中長期的な観点から戦略的に取り組む政策方針のもとで、資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進に向けた取り組みが推進されているところである。また、悪臭問題は畜産において苦情の大半を占める状況が継続している。そこで、本研究会では、肥料の海外依存体質を改善し、国内資源を有効活用し肥料利用するための技術開発・実証事業、および悪臭問題について話題提供を行い、関係者間の連携強化を図る。

2. 開催日時 令和 8 年 11 月 25 日（水）13:30～16:30

3. 開催場所 WEB 会議方式（Teams）

4. 主催 農研機構 畜産研究部門

5. 内容

11 月 25 日（水）

挨拶 畜産研究部門所長

13:30-13:40

基調講演「畜産環境をめぐる情勢/農林水産省の研究開発事業について」

農林水産省 畜産局畜産振興課

課長補佐

阿南小有里

農林水産技術会議事務局

研究専門官

西尾 元秀

13:40-14:10

【酪農スラリー高度肥料利用、および悪臭問題】

座長 農研機構畜産研究部門 畜産施設管理研究領域長 福本 泰之

（1）「酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発—固液分離による液肥からの雑草種子除去技術」

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 古橋 賢一

14:10-14:50

（2）「酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発（酪 5C1）—膜分離処理による消化液の肥料利用改善技術の開発」

鹿島環境エンジニアリング株式会社 プラント事業部 渡邊 裕貴

14:50-15:30

休憩（15分）

（3）「高濃度畜産臭気脱臭技術開発普及事業について」

（一財）畜産環境整備機構畜産環境技術研究所 主任研究員 小堤 悠平

15:45-16:25

6. 参集範囲：農林水産省、独立行政法人、都道府県試験研究機関、普及指導機関、大学、民間団体、民間企業、農研機構本部、等

7. 参加申込み

下記の「お申込みフォーム」よりお申込みください。

お申込みフォーム



<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/2026funnyo>

(農研機構ホームページのイベント・セミナー「令和 8 年度家畜ふん尿処理利用研究会」からもアクセスいただけます。)

申込締切：令和 8 年 11 月 20 日（金曜日）

8. 連絡先（問い合わせ先）

〒305-0901 茨城県つくば市池の台 2

農研機構畜産研究部門 畜産施設管理研究領域 研究領域長 福本 泰之

Tel. 029-838-8473 / Fax.029-838-8606 e-mail : nilgs-mmsg@ml.affrc.go.jp